

概要

1. 沿革

守谷の地名の起こりについてみると、人皇 12 代景行天皇の御代、日本武尊が東征のときにこの地を通り、うっそうたる森林が果てしなく広がっているのを見て嘆賞せられ、「森なる哉」といわれました。これを漢訳して音読すれば「森哉」です。

守谷の地名はこれに由来するという説と、また、平将門がこの地に城を築いたとき丘高く谷深くして守るに易き地ということから、守るに易き谷、転じて「守谷」となったという説があります。しかしながら、このことについて、はっきりしたことは判明しないが、そのころの守谷は森がうっそうと茂り、その両側には入江が深く入り込んで、早くから人々が集まった所であったと思われます。

近世の守谷市成立の基礎が築かれたのは、土岐山城守定政によってでした。定政は、豊臣秀吉の北條氏征伐により、北條氏と運命を共にして没落した相馬氏の遺領に、1590（天正 18）年守谷 1 万石の領主として封ぜられました。初代守谷城主として入城した定政は、遺領の復旧をはかるとともに、城下町としての町づくりにつとめたため、守谷は周辺の村落とは異なった環境を呈し、それはやがて「町」を形成する基盤となったのです。それから 1681（天和元）年最後の城主酒井忠孝が転封になるまでの 91 年間、城下町としての繁栄をみたが、その後関宿久世藩の領地となり、城下町でなくなってからは衰微し周辺の農村と全く同じような環境になってしまいました。時を隔てて 1868（明治元）年、王政復古による明治新政府の発足後、下総、葛飾県に、そして 1871（明治 4）年廃藩置県施行後、印旛、千葉県の間轄下となり、明治 8 年茨城県の管轄下に編入されました。また明治 22 年の町村制施行を受けて、現在の守谷市を構成する、旧守谷町・旧高野村・旧大野村・旧大井沢村の 1 町 3 カ村が発足しました。

一方、経済・文化面においては、大正 2 年 11 月 1 日に開通した常総鉄道が、水運に変わり運輸交通の柱となり、飛躍的な発展をもたらしました。

昭和 30 年 3 月 1 日、1 町 3 カ村が合併して守谷市の前身となる守谷町（人口 12,095 人。昭和 30 年 10 月 1 日）が形成されました。

昭和 41 年首都圏近郊整備地帯の指定を受け、住宅公団や民間による大型宅地開発が計画され、昭和 50 年代には、常磐自動車道が開通し、都心直結の道路網や都市基盤整備が進められてきました。60 年代には、工業団地を含めた新たな区画整理事業が着手され都市化が急速に進展し、守谷市の新たな発展の契機となるつくばエクスプレス及び関連事業の都市計画が決定されました。

新しいまちづくりに伴って人口も増加し、昭和 60 年には、23,857 人、平成元年には、33,323 人、平成 12 年の国勢調査では、50,362 人となり、平成 14 年（2002 年）2 月 2 日市制施行により守谷市となりました。

2. 地形及び土地

総面積	3 5 . 6 3 k m ²	市役所の位置	所在地	茨城県守谷市大柏 9 5 0 番地 1
広がり	東西 7 . 5 Km 南北 7 . 2 Km		経緯度	東経 1 3 9 度 5 8 分 4 2 秒 北緯 3 5 度 5 6 分 5 2 秒
海拔	2 0 m (平均)		海拔	2 2 . 2 0 m



水と緑の豊かな自然環境と、東京都心から40km圏内という地理的条件に恵まれた守谷市は、昭和41年の首都圏近郊整備地帯の指定を受けて以来、住宅公団等による大規模住宅開発、常磐自動車道の開通などの大型プロジェクトが推進され、首都圏の近郊都市として発展してまいりました。

さらに、平成17年8月のつくばエクスプレスの開通により茨城県の新しい玄関口としてさらなる発展が期待されています。

3. 守谷市のあゆみ

1955年（昭和30年）

- 3月 ・ 町村合併により新しい守谷町誕生
（守谷町・高野村・大野村・大井沢村）
- 4月 ・ 第1回町長選挙 吉田亀次郎氏就任
- 10月 ・ 第8回国勢調査 人口12,095人

1956年（昭和31年）

- 1月 ・ 滝下橋竣工
- 2月 ・ 第1回町議会議員選挙（議員定数26人）
- 4月 ・ 国民健康保険全町実施

1957年（昭和32年）

- 4月 ・ ごみ収集開始（大字守谷地区）
- 6月 ・ 高野小学校校庭拡張工事完成

1958年（昭和33年）

- 4月 ・ 新農村建設特別助成事業開始
・ 守谷町農協合併決議
- 9月 ・ 大野小学校講堂兼公民館完成

1959年（昭和34年）

- 1月 ・ 守谷町広報第1号発行
・ 第2回町長選挙 吉田亀次郎氏再任
- 3月 ・ 役場庁舎完成
・ 高野青年研修所完成
・ 役場高野支所が高野出張所に改称
- 4月 ・ 国民年金法制定
- 11月 ・ 福祉年金支給開始

1960年（昭和35年）

- 2月 ・ 第2回町議会議員選挙
- 4月 ・ 高野出張所・大野支所・大井沢支所を廃止
・ 企業誘致条例施行
- 5月 ・ 第9回国勢調査 人口11,449人
- 11月 ・ 南守谷駅開設
- 12月 ・ 第3回町長選挙 吉田亀次郎氏再任
・ 町議会議員補欠選挙

1961年（昭和36年）

- 4月 ・ 拠出年金開始
・ 守谷中学校、大井沢中学校統合

1962年（昭和37年）

- 3月 ・ 守谷中学校校舎第1期工事完成

1963年（昭和38年）

- 3月 ・ 守谷中学校校舎第2期工事完成
- 6月 ・ ヘリコプターによる空中防除実施
- 7月 ・ 土塔保育所開所
・ 北相馬郡地区農業構造改善対策協議会設立

1964年（昭和39年）

- 2月 ・ 第3回町議会議員選挙
- 3月 ・ 守谷中学校校舎第3期工事完成
- 4月 ・ 常総衛生組合し尿処理場操業開始
- 12月 ・ 第4回町長選挙 吉田亀次郎氏再任

1965年（昭和40年）

- 1月 ・ 国民健康保険7割給付開始
・ 第10回国勢調査 人口11,475人
- 12月 ・ 守谷中学校体育館完成
・ 第一町営住宅建設

1966年（昭和41年）

- 3月 ・ 合併10周年記念式典挙行
- 4月 ・ 町章制定
- 6月 ・ 首都圏近郊整備地帯の指定を受ける
- 8月 ・ 守谷中学校プール完成
- 12月 ・ 第二町営住宅建設
・ 県による取手都市計画区域決定

1967年（昭和42年）

- 3月 ・ 大井沢小学校校舎完成
・ 農林省から人参の指定産地を受ける

1968年（昭和43年）

- 2月 ・ 第4回町議会議員選挙（議員定数22人）
- 3月 ・ 守谷沼圃場整備事業完成
- 4月 ・ 第三町営住宅建設
・ 農林省からねぎの指定産地を受ける
- 11月 ・ ダイヤル式電話開通
- 12月 ・ 第5回町長選挙 会田源一郎氏就任

1969年（昭和44年）

- 3月 ・ 町立学校給食共同調理場完成

1970年(昭和45年)

- 7月・市街化区域線引き実施
- 8月・大野小学校プール完成
- 10月・第11回国勢調査 人口12,300人

1971年(昭和46年)

- 1月・北守谷団地の計画決定
 - 4月・守谷町社会福祉協議会設立
 - ・心配ごと相談所開設
 - 5月・拠出制年金支給開始
 - ・第四町営住宅建設
 - 7月・守谷小学校プール完成
 - 10月・老人医療無料化 ※
- ※S. 58. 2老人保健法の施行に伴い一部負担制導入

1972年(昭和47年)

- 1月・児童福祉手当支給開始
- 2月・第5回町議会議員選挙
- 3月・常総地方広域市町村圏事務組合設立
- 4月・野木崎保育所開所
- 6月・常磐自動車道(守谷町)の路線発表
- 7月・大井沢・高野小学校プール完成
- 10月・農業振興地域の指定を受ける
- 12月・簡易水道事業による給水開始(守谷地区)
 - ・第6回町長選挙 会田源一郎氏再任
 - ・市街化区域線引き変更

1973年(昭和48年)

- 2月・南守谷団地の計画決定
- 3月・守谷町社会福祉協議会法人化認可
- 5月・守谷小学校校舎完成(第1期・第2期)
- 6月・都市計画法による用途地域指定

1974年(昭和49年)

- 2月・農振法による農用地の指定を受ける
- 8月・都市計画道路計画決定
 - ・守谷小学校校舎完成(第3期)
- 10月・常総環境センター操業開始
- 12月・町の木(松), 町の花(山百合), 町の鳥(小綬鶏)を制定

- ・国土利用計画法施行

1975年(昭和50年)

- 1月・公共下水道計画決定
- 3月・合併20周年記念式典挙行
 - ・老人福祉センター(白寿荘)開所
- 5月・守谷小学校校舎完成(第4期)
- 9月・高野小学校敷地拡張
- 10月・第12回国勢調査 人口14,505人

1976年(昭和51年)

- 2月・第6回町議会議員選挙
- 3月・常総衛生組合し尿処理場増設工事完了
 - ・日曜朝市実行委員会発足
 - 第1回日曜朝市開催
- 6月・守谷町振興計画策定(昭和65年目標)
- 11月・第7回町長選挙 会田源一郎氏再任
 - ・町議会議員補欠選挙
- 12月・助役 高橋孝一氏逝去

1977年(昭和52年)

- 3月・高野地区圃場整備事業竣工
- 4月・北園保育所開所
 - ・常総広域消防守谷出張所発足
- 9月・常総運動公園野球グラウンド竣工
- 10月・常総広域消防守谷出張所庁舎竣工

1978年(昭和53年)

- 3月・大野小学校校舎竣工
 - ・大柏地区圃場整備事業竣工
- 4月・公営企業守谷町水道事業発足
 - ・川西地区簡易水道供用開始
 - ・滝下橋側歩道竣工
 - ・守谷町商工会館竣工
- 8月・町長 会田源一郎氏逝去(守谷中体育館にて町葬)
- 9月・第8回町長選挙 大和田仁氏就任
 - ・町議会議員補欠選挙

1979年(昭和54年)

- 1月・南守谷特定土地区画整理事業が認可

- 3月・守谷中学校格技場完成
- 4月・黒内小学校開校、プール完成
- 5月・大井沢小学校特別教室完成
- 7月・森林公園開園
- 8月・用途地域が変更される
 - ・除籍，原戸籍のマイクロフィルム化実施
- 9月・「青色申告の町」を宣言
- 10月・住民基本台帳の電算化

1980年（昭和55年）

- 2月・第7回町議会議員選挙
- 4月・新大利根橋有料道路開通
 - ・水道事務所完成
- 7月・常総運動公園プール竣工
- 10月・守谷町外1市1ヶ村土地改良区事務所竣工
 - ・第13回国勢調査 人口17,585人
- 11月・守谷中学校統合20周年記念式典挙行

1981年（昭和56年）

- 3月・黒内小学校屋内運動場竣工
- 4月・守谷浄化センター通水
 - ・守谷町中央公民館竣工
 - ・土塔中央保育所開所
 - ・常磐自動車道開通（谷田部～柏間）
- 5月・守谷警察官幹部派出所竣工
- 6月・守谷町国土利用計画（第1次）策定

1982年（昭和57年）

- 2月・守谷小学校屋内運動場竣工
- 3月・新守谷駅開設
- 4月・御所ヶ丘小学校開校
 - ・北守谷団地，みずき野団地入居開始
- 6月・人口2万人突破（住民基本台帳登録人口）
- 9月・第9回町長選挙 大和田仁氏再任
 - ・町議会議員補欠選挙
- 10月・第1回町民体育祭開催
 - ・用途地域の変更
- 12月・常総線の複線化（寺原駅～南守谷駅間）

1983年（昭和58年）

- 3月・高野小学校屋内運動場竣工
 - ・大野小学校屋内運動場竣工
- 4月・郷州小学校開校
 - ・愛宕中学校開校
 - ・県立守谷高校開校
 - ・新守谷駅第1自転車駐車場供用開始
- 5月・東板戸井集会所竣工
 - ・常総線の複線化（南守谷駅～新守谷駅間）
 - ・参議院選挙全国区が新制度に移行
- 6月・北守谷緑の町づくり協定準備会発足
- 11月・守谷町空き缶回収に関する条例施行

1984年（昭和59年）

- 2月・第8回町議会議員選挙（定員20人に削減）
- 3月・大井沢小学校屋内運動場竣工
- 4月・茨城県防災無線開局
 - ・学校給食センター竣工
 - ・北守谷遊歩道道びらき（町内健康マラソン大会開催）
- 7月・常総広域消防本部守谷消防署竣工
- 8月・第2常磐線建設促進期成同盟会発足
- 11月・常総線の複線化（新守谷駅～水海道駅間）

1985年（昭和60年）

- 3月・町村合併30周年記念式典挙行
- 4月・御所ヶ丘中学校開校
 - ・文化会館開館
 - ・つくば科学万博守谷町の日催事
- 6月・みずき野地区コミュニティ道路道びらき
- 7月・常磐新線が運輸政策審議会で答申
- 8月・北柏駅行路線バス開通祝賀式典
- 10月・第14回国勢調査 人口23,856人
- 11月・北守谷団地竣工式
 - ・常磐新線守谷ターミナルとまちづくり懇談会設立
- 12月・守谷町庁舎建設実行委員会発足

1986年(昭和61年)

- 1月・町営薬師台住宅建設起工式
- 4月・取手都市計画道路取手西口北守谷線開通
(乙子〜本宿間)
 - ・松ヶ丘公園テニスコート供用開始
- 6月・水道事業竣工式(全町給水)
 - ・町主催叙勲等受賞者祝賀会
- 9月・第10回町長選挙 大和田仁氏再任

1987年(昭和62年)

- 3月・‘87常磐新線とまちづくりシンポジウム
及び守谷町常磐線建設促進大会開催
 - ・町行革大綱を作成
- 4月・北守谷ショッピングセンターオープン
 - ・守谷児童館開館
- 10月・守谷町工業団地土地地区画整理事業開始
- 11月・税務関係オンラインシステム稼動
- 12月・住民記録オンラインシステム稼動

1988年(昭和63年)

- 2月・第9回町議会議員選挙
- 3月・川西地区へ守谷浄水場から分水
 - ・全行政区域が国土利用計画法に基づく監視
区域に指定
- 4月・取手都市計画道路取手西口北守谷線の愛称
決定「常総ふれあい道路」
 - ・常総ふれあい道路開通(町内約7.1km) 及
び開通記念町民マラソン大会実施
- 5月・南守谷団地の町名・地番の変更
- 6月・「守谷町役場の位置を変更する条例」議決
- 8月・市街化区域及び市街化調整区域並びに用途
地域の都市計画変更
 - ・守谷東特定土地地区画整理事業と守谷町工業
団地土地地区画整理事業の都市計画決定
- 9月・久保ヶ丘郵便局開局
 - ・人口3万人突破(住民基本台帳登録人口)
- 10月・南守谷特定区画整理事業竣工式
 - ・守谷町工業団地土地地区画整理事業の県知事

認可

- 11月・守谷町工業団地土地地区画整理事業起工式
- 12月・守谷東特定土地地区画整理事業の県知事認可

1989年(昭和64年)

- 1月・昭和(裕仁)天皇崩御

1989年(平成元年)

- 3月・守谷町福祉集会所開所
- 4月・松前台小学校開校
- 5月・高野・大井沢・守谷小学校創立100周年
- 7月・守谷町国際交流協会発足
- 10月・守谷東特定土地地区画整理事業起工式
 - ・守谷沼整備事業起工式
- 11月・町の面積が35.46km²から35.63km²に訂正

1990年(平成2年)

- 4月・常総環境センター竣工式
 - ・広域消防本部(水海道消防署含)竣工式
- 8月・第1回青少年海外派遣事業実施
- 9月・第11回町長選挙 大和田仁氏再任
- 10月・第15回国勢調査 人口36,427人
 - ・守谷町の歌発表会
「心のふるさと、ふるさと守谷音頭」
 - ・大野小学校100周年
- 11月・庁舎移転(仲町サービスセンター竣工)
 - ・新庁舎竣工・落成記念式典挙行
 - ・町制施行100周年記念式典挙行
 - ・ドイツ連邦共和国マインブルク市と国際
姉妹都市提携調印
 - ・国際交流研修センター開館・使用開始

1991年(平成3年)

- 1月・ミニシルバー人材センター設立
- 2月・守谷町常磐新線協議会発足
- 3月・常磐新線第3セクター
「首都圏新都市鉄道(株)」設立
- 4月・けやき台中学校開校
 - ・守谷町ごみコンポスト等購入費補助事業開始
- 7月・常総地方広域市町村圏事務組合事務棟竣工式

1992年（平成4年）

- 1月・工業団地名称「もりや工業団地」と決定
- 2月・第10回町議会議員選挙
- 3月・取手市外二町火葬場組合立斎場施設「やすらぎ苑」竣工
 - ・人口4万人達成（住民基本台帳登録人口）
- 4月・守谷消防署南守谷出張所竣工
 - ・郷州公民館竣工
 - ・都市計画道路北園野木崎線開通
- 6月・デイサービスセンター竣工
 - ・大同火工爆発事故発生
- 6月・関東鉄道列車事故発生
- 7月・保健センター竣工
- 9月・みずき野郵便局開局
- 10月・町長大和田仁氏逝去（御所ヶ丘中にて町葬）
- 11月・故大和田仁氏に守谷町名誉町民（第1号）の称号を授与
- 12月・第12回町長選挙 会田真一氏就任

1993年（平成5年）

- 4月・四季の里公園開園
- 6月・心身障害者福祉センターひこうせん竣工
 - ・第1回もりやアヤマ祭り開催
- 8月・アメリカ合衆国コロラド州グリーリー市との国際姉妹都市提携調印
- 10月・守谷町乙子高野土地区画整理事業起工式
- 11月・もりや工業団地竣工式

1994年（平成6年）

- 4月・守谷町総合計画策定
 - ・松ヶ丘小学校開校
- 6月・テレフォンガイド「ふれあいコールもりや」開始
- 7月・統一指定ごみ袋による分別収集
- 11月・常総ふれあいスポーツセンター開館

1995年（平成7年）

- 3月・町村合併40周年記念式典挙行

- 4月・大井沢小学校開校（薬師台）
 - ・久保ヶ丘交番開所
 - ・「アーカス構想パイロット」事業開始
- 5月・中央図書館開館
- 6月・もりや学びの里供用開始
- 9月・乙子高野地区区画整理事業名称が「美園」に決定
 - ・守谷駅周辺一体型土地区画整理事業起工
- 10月・松ヶ丘郵便局開局
 - ・第16回国勢調査 人口45,821人

1996年（平成8年）

- 2月・第11回町議会議員選挙
- 3月・取手都市計画守谷東・乙子高野・上裏地区計画決定
- 4月・高野公民館竣工
- 9月・福祉循環バス「やまゆり号」運行開始
- 11月・第13回町長選挙 会田真一氏再任

1997年（平成9年）

- 8月・茨城県・守谷町総合防災訓練実施
- 9月・北園保育所開所（移転）

1998年（平成10年）

- 3月・守谷町ホームページ開設
- 8月・野木崎郵便局開局（移転）

1999年（平成11年）

- 2月・高速バス開通（水海道・守谷⇄東京駅）
- 3月・地域振興券発行
- 4月・北守谷公民館開館

2000年（平成12年）

- 2月・第12回町議会議員選挙
- 3月・人口5万人達成（住民基本台帳登録人口）
- 4月・介護保険制度開始
 - ・いきいきプラザ・げんき館開館
- 8月・高速バス 南守谷⇄東京駅運行開始
- 9月・農業集落排水処理場竣工
- 10月・第17回国勢調査 人口50,362人
 - ・戸籍事務コンピュータ化

- 10月 ・げんきサロン・みずき野オープン
- 11月 ・第14回町長選挙 会田真一氏再任
・町議会議員補欠選挙

2001年(平成13年)

- 2月 ・常磐新線名称「つくばエクスプレス」に決定
- 7月 ・もりやファミリー・サポート・センター
オープン
- 9月 ・げんきサロン・北守谷オープン
- 10月 ・循環バス「やまゆり号」ワンコインバス
(100円)として毎日3台運行

2002年(平成14年)

- 2月 ・守谷町閉町式(1日)
・「守谷市市制施行」(2日)
- 2月 ・守谷市開市及び記念式典
・守谷市シンボルマーク・キャッチフレーズ
制定
- ・市制に伴い守谷地区に松並, 本町,
百合ヶ丘一・二・三丁目を設定
- ・福祉事務所スタート
- 4月 ・市制施行記念イベント開催
- 5月 ・第1回守谷市中学校陸上競技大会開催
・第1回守谷市中学校総合体育大会開催
- 8月 ・インターハイ(ハンドボール競技)を守
谷・水海道・岩井市で開催
- 10月 ・第1回守谷市民スポーツフェスティバル
- 12月 ・守谷市民活動支援センター開設
・高速バス 岩井・守谷⇄東京駅運行開始

2003年(平成15年)

- 4月 ・つくばエクスプレス車両一般展示会開催
・住民基本台帳ネットワーク利用拡大
・市民課を総合窓口課に改める
・くらしの支援課を新設
- 6月 ・総合窓口業務開始
- 8月 ・住民基本台帳カード交付開始
- 10月 ・総合窓口業務日曜開庁スタート
- 12月 ・合併に関する市民意識調査実施

2004年(平成16年)

- 1月 ・合併に関する市民意識調査の結果を踏まえ
当面合併しない旨を発表
・公的個人認証サービス開始
- 2月 ・守谷市市議会議員一般選挙
- 3月 ・つくばエクスプレス実車走行による試験
開始
- 4月 ・守谷市学校サポートチーム発足
- 5月 ・出前サロンオープン
(大野公民館, 中央公民館, 高野公民館)
・つくばエクスプレスレール締結式
- 7月 ・守谷市集合住宅の建築及び管理に関する
条例施行
・審議会等の会議を公開開始
- 7月 ・守谷消費生活センター開設
・守谷城址公園完成
・電子申請・届出サービス開始
- 8月 ・つくばエクスプレス架線接続式
- 9月 ・休日議会開催
・つくばエクスプレスレールウォーク守谷
大会
・新守谷ステーションライブラリー閉鎖
- 10月 ・空きビンコンテナ容器収集に変更
・子育て広場おおがしわオープン
・新潟県中越地震に伴う救援物資搬送
(長岡市)
- 11月 ・第1回守谷市長選挙 会田真一氏再任
・守谷中学校新校舎授業開始
・乙子立体交差点起工式
・協働のまちづくり市民会議発足
- 12月 ・守谷東特定土地区画整理事業の換地処分に
供い, 住居表示「ひがし野一〜三丁目」と
なる

2005年(平成17年)

- 3月 ・子育て支援情報サイト
「守谷市子育てひろば」開設

- 3月 ・「守谷地区交番」「南守谷交番」開所
- 4月 ・水道事務所，下水道課が統合
「上下水道事務所」となる
- ・「守谷市男女共同参画推進計画」策定
- ・守谷市次世代育成支援対策行動計画
「のびゆく守谷子ども未来プラン」策定
- ・守谷駅自由通路出入口名称決定
(中央東口・八坂口・中央西口・土塔口)
- 5月 ・出前サロンオープン (根切公民館，
坂町公民館，西板戸井田園都市センター)
- 6月 ・子育てひろば「まなびの里」オープン
- 7月 ・守谷駅東自転車駐車場オープン
- 8月 ・都市軸道路開通
- ・つくばエクスプレス開業 (つくば⇄秋葉原)
- 8月 ・守谷市電子地図サービス「もりやナビ」スタート
- ・守谷駅西自転車駐車場オープン
- 10月 ・第18回国勢調査 人口53,700人
- 11月 ・高速バス「南守谷ルート」廃止

2006年(平成18年)

- 2月 ・守谷駅周辺区画整理地内住宅分譲開始
- 3月 ・AED (自動体外式除細動器) を市内公共
施設に配備
- 4月 ・上下水道料金収納業務を民間委託
- ・守谷もりもり福祉輸送特区福祉有償運送
(移送サービス) スタート
- ・広報もりや有料広告掲載
- 6月 ・高速バス「大子ルート」休止
- 8月 ・守谷トンネル開通
- 9月 ・「災害時における物資の供給等に関する協
定」の合同調印式 (市内大型店舗5社6店)
- ・市内避難所小学校11校に災害用井戸を設置
- ・「守谷市協働のまちづくり推進」条例制定
- ・地域生活支援事業開始
- ・「暴力追放都市宣言」
- 12月 ・守谷駅前クリスマスイベント開催

2007年(平成19年)

- 2月 ・つくばナンバー導入
- 3月 ・メールサービス「メールもりや」スタート
- ・野木崎保育所閉所式
- ・「出前サロン松風」オープン
- 4月 ・市内各公共施設の有料化
- ・「守谷市景観計画」及び「守谷市景観法の
施行等に関する条例」を制定・施行
- 5月 ・「ふれあい薪能」開催
- 6月 ・市ホームページバナー広告開始
- 7月 ・「放課後子供プラン」事業実施
- ・「お昼のミニコンサート」開催
- 10月 ・地域子育て支援センター「夢っ子」オー
プン

2008年(平成20年)

- 2月 ・守谷市議会議員一般選挙
- 4月 ・指定管理者制導入
- ・南守谷児童センター開館
- ・守谷市民交流プラザ開館
- ・「守谷市ふるさとづくり」寄付条例施行
- 5月 ・守谷市ポイ捨て等防止に関する条例施行
- ・守谷市・取手市・利根町の3市町と取手警察
署が「暴力団排除等に関する協定」締結
- 6月 ・住みよさランキング (東洋経済新報社) で
守谷市が総合1位
- 11月 ・『第23回国民文化祭・いばらき2008』開催
- ・第2回守谷市長選挙 会田真一氏再任
- ・守谷市議会議員補欠選挙，茨城県議会議員
補欠選挙

2009年(平成21年)

- 3月 ・男女共同参画推進条例制定
- 4月 ・定額給付金・子育て応援特別手当給付
- ・まちづくり特例市のサービス指定
- ・守谷市難病患者福祉手当支給事業開始
- 5月 ・裁判員制度開始
- 6月 ・レジ袋無料配布中止 (レジ袋の有料化)

- 8月 ・循環バス「モコバス」運行開始
 - ・北守谷シャトルバス運行開始
- 10月 ・守谷駅西口～あみプレミアム・アウトレット線運行開始
- 12月 ・パークシティ守谷～北柏駅線運行終了

2010年（平成22年）

- 1月 ・すこやか医療費支給制度開始
- 2月 ・取手都市計画事業守谷駅周辺一体型土地
区画整理事業の換地処分により守谷駅周辺
（大字守谷）地区の町名『中央』に変更
- 4月 ・児童手当制度から子ども手当制度へ移行
 - ・空き家等活用コミュニティ推進事業（コミュニティサロン事業）開設
 - ・新大利根有料道路の通行料無料化
 - ・市税のクレジットカード納付開始
 - ・稲戸井調整池堤防にサイクリング道路整備
- 6月 ・守谷市病後児保育事業『すこやかルーム』
開設
- 10月 ・第19回国勢調査 人口62,434人（速報値）

4. 地目別土地面積

単位：ha

年 次	総面積	田	畑	宅 地	山 林	原 野	雑種地	その他
平成10年	3,563	517	533	737	288	163	777	548
11年	3,563	508	517	745	279	163	801	550
12年	3,563	502	503	753	275	162	848	520
13年	3,563	498	496	760	271	159	860	519
14年	3,563	491	488	766	270	164	865	519
15年	3,563	486	480	770	269	162	877	519
16年	3,563	485	470	777	267	158	886	520
17年	3,563	481	457	793	264	157	901	510
18年	3,563	477	446	807	257	157	909	510
19年	3,563	474	435	818	254	158	916	508
20年	3,563	471	428	824	252	158	922	508
21年	3,563	471	423	830	251	158	924	506
22年	3,563	468	416	833	249	162	930	505

各年1月1日現在

資料：税務課

※取手都市計画区域面積

単位：ha

市町村名	行政区域 面 積	都市計画 区域面積	市街化区域 面 積	市街化調整 区域面積	用途地域 面 積
総 計	10,559	10,559	2,746	7,813	2,746
守谷市	3,563	3,563	937	2,626	937
取手市	6,996	6,996	1,809	5,187	1,809

平成22年4月1日現在

5. 気象概要

(1) 月別降水量

単位：日・mm

月 別	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	日数	降水量	日数	降水量	日数	降水量	日数	降水量
1月	2	25.0	4	15.0	7	115.0	3	13.5
2月	6	14.5	7	35.0	6	36.5	9	94.5
3月	0	0.0	9	74.5	9	89.5	14	107.5
4月	15	93.0	9	158.5	7	106.0	14	146.0
5月	11	126.5	10	71.0	11	137.0	11	97.5
6月	10	88.0	5	68.0	13	171.5	12	106.0
7月	14	180.0	5	90.5	17	58.0	15	59.5
8月	2	62.5	16	411.5	7	186.5	2	12.5
9月	10	214.5	8	102.5	7	19.0	11	336.5
10月	9	52.0	13	149.5	11	210.0	10	149.5
11月	6	38.0	6	67.5	12	117.0	8	91.0
12月	6	51.0	10	70.0	7	75.0	8	94.5
合 計	91	945.0	102	1,313.5	114	1,321.0	117	1,308.5
日平均	10.4		12.9		11.6		11.2	
日最大	61.5		196.0		84.5		118.5	
日最小	0.5		0.5		0.5		0.5	

※日平均は合計を降水日数で除したものである。

資料：浄化センター月報記録

(2) 月別気温

単位：℃

月 別	平成19年			平成20年			平成21年			平成22年		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
1月	5.2	15.1	-2.7	3.6	14.6	-4.5	4.5	15.0	-3.6	4.3	16.5	-4.5
2月	6.5	16.2	-3.5	3.4	15.4	-4.1	5.6	23.7	-2.5	4.6	20.6	-4.5
3月	8.9	25.6	-2.3	8.7	20.2	-1.1	8.2	22.8	-1.0	7.4	22.0	-1.3
4月	12.2	27.4	1.5	13.1	27.5	4.3	14.1	26.1	1.4	11.0	25.8	0.3
5月	18.4	30.3	8.0	17.2	29.9	8.7	18.9	30.3	8.5	17.8	31.5	8.1
6月	22.0	31.9	13.1	20.3	28.4	11.5	21.1	34.2	13.0	22.5	32.0	11.0
7月	23.0	33.1	17.0	25.5	35.0	16.5	25.2	34.9	18.8	26.8	36.8	18.5
8月	27.7	39.3	20.3	25.6	36.3	18.3	25.0	33.5	16.7	28.6	37.1	22.3
9月	24.0	33.2	15.2	22.8	33.7	13.6	21.4	30.0	13.6	23.7	36.1	10.1
10月	17.0	26.7	8.2	17.4	25.6	8.0	17.0	26.2	8.9	17.4	28.2	6.7
11月	10.8	20.9	-0.6	10.9	21.5	0.6	11.3	26.1	1.6	11.2	21.4	2.2
12月	6.2	16.1	-2.2	7.3	19.4	-1.1	6.6	17.0	-2.9	7.5	23.1	-2.0
年平均	15.2			14.7			15.0			15.3		
年最高	39.3			36.3			34.9			37.1		
年最低	-3.5			-4.5			-3.6			-4.5		

各年1月1日～12月31日

資料：常総地方広域消防本部

6. 地価公示価格

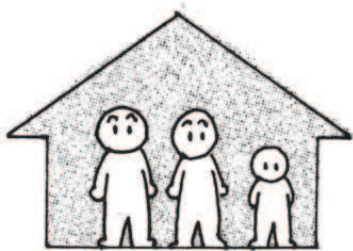
単位：百円 / ㎡

所 在 地	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
住宅地					
百合ヶ丘二丁目字清水2765-11外	601	780	918	915	886
百合ヶ丘二丁目字土塔2546-20	657	859	1,020	1,010	977
百合ヶ丘三丁目字土塔前2661-19	682	881	1,030	1,020	991
本町字向原156-2外	595	—	—	—	—
本町字新町504-8	685	893	1,060	1,050	1,030
本町字籠山前3287-25	537	—	—	—	—
百合ヶ丘三丁目字新山2792-12	592	759	898	895	868
けやき台五丁目13-7	878	1,120	1,140	1,130	1,060
久保ヶ丘二丁目10-2	840	931	971	927	864
薬師台七丁目8-14	724	843	890	843	780
松ヶ丘二丁目21-7外	735	859	931	917	875
松ヶ丘七丁目4-5	840	973	1,040	1,020	967
みずき野一丁目8-4	812	942	942	910	864
商業地					
本町字向原153-1	962	1,230	1,340	1,330	1,270
御所ヶ丘二丁目11-2	784	902	977	976	926
工業地					
緑二丁目27-1外	315	318	319	317	313
調整区域内の現況住宅					
本町字中割3912-2	230	249	275	273	261
立沢字直道1122	211	232	240	239	234
野木崎字庄太郎久保1154-1	219	219	223	232	221

各年 1 月 1 日現在

7. 市民のくらし

○世帯人員



1世帯あたり 2.7人
(平成22年10月1日現在)

○人口密度



1,752.3人/km²
(平成22年10月1日現在)

○出生



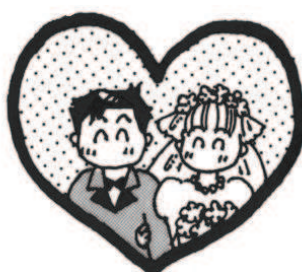
1日 1.9人
(平成22年)

○死亡



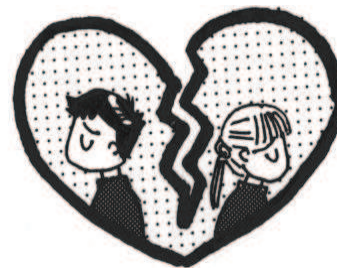
1日 0.9人
(平成22年)

○婚姻



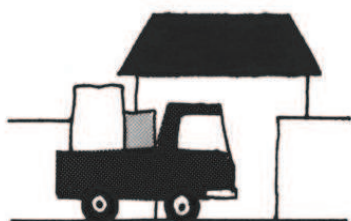
1日 1.0人
(平成22年)

○離婚



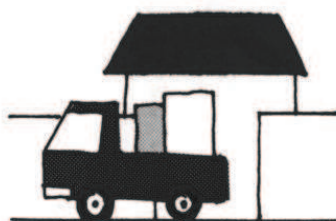
1日 0.3組
(平成22年)

○転入



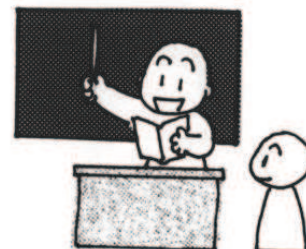
1日 10.4人
(平成22年)

○転出



1日 7.4人
(平成22年)

○教員1人当たりの生徒数



小学校20.3人 中学校15.5人
(平成22年5月1日現在)

○年齢3区分別人口



・年少人口(0~14歳) 16.2%
・生産年齢人口(15~64歳) 69.6%
・高齢人口(65歳~) 14.2%
(平成22年7月1日現在)

○図書貸出数



1日 2,809冊
(平成21年度)

○市職員数



市民 177.7人に1人
(平成22年4月1日現在)

○病院・診療所・歯科診療所



301世帯に1ヶ所
(平成22年12月31日現在)

○医師・歯科医師



158世帯に1人
(平成20年12月31日現在)

○救急車出動回数



1日 5.2回
(平成22年)

○消防士



327世帯に1人
(平成22年12月31日現在)

○火災



1ヶ月 0.9件
(平成22年)

○交通事故



1日 4.6件
(平成22年)

○犯罪発生



1日 2.6件
(平成22年)

○水道給水量



1日1人 277リットル
(平成21年度)

○公共下水道普及率



98.9%
(平成22年3月31日現在)

○ごみ処理費用



1人 10,590円
(平成21年度)

○市民税



1人 73,263円
(平成21年度)

○市一般会計



1人 281,445円
(平成22年度)